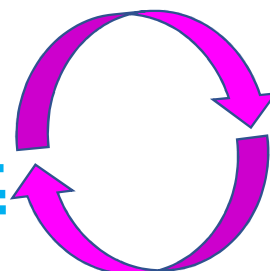


Smart道庁の推進について

目的

勤務環境の充実と
仕事のやり方の改善



職員の意識と
行動の変革

➡ 組織活力の向上、道民サービスの向上

電子契約（契約書のPDFに電子署名を入れて契約締結）

- ・業務効率化、コスト削減の効果（郵送費、封筒購入費、収入印紙、製本作業不要）
- ・11月以降、順次導入予定

アナログ規制（7つの項目が対象：目視、実地監査、定期検査・点検、常駐・専任、対面講習、書面掲示、往訪閲覧・縦覧、フロッピー等）

- ・国のモデル事業を活用し、2分野（医療・福祉・健康、農林水産業）を重点的に分析
- ・今後、国のマニュアル改正を踏まえ、全庁的に見直し

オフィスコンペ・カイゼン提案（オフィスコンペ：9月15日〆 10月優秀案選定、カイゼン提案：8月31日〆 9月優良提案選定）

- ・庁内でコンペを行い、優秀案についてオフィス改革を実施
- ・職員からのカイゼン提案について、Sma道推進本部での審査や職員投票を行い、提案を実現に結びつける

ココdemoお試しテレワーク！！

- ・ 期間限定でテレワーク実施場所を拡大（宿泊施設等の個室）
- ・ 多様な働き方の促進に向け職員のニーズや課題を把握
- ・ 期間：8月1日（火）から9月29日（金）まで

庁内SNS（愛称：DoSpaceウェカルパ）

- ・ 庁内における情報交換の場として試行的にSNSを設置
【目的】
 - ・ 所属や世代を越えた職員間のコミュニケーションの活性化と円滑化を図る
 - ・ 職員一人ひとりが持つ業務ノウハウやナレッジを蓄積・共有し、それを活用する
 - ・ 新たな気づき、学び、出会いによる職員の意識改革と行動変革に繋げる
- ・ 試行期間：令和5年8月21日（月）から
令和6年3月31日（日）まで

○参考（主な指標）

	紙購入量・削減率	電子決裁率
平成30年度	1億8,662万枚	39.2% 〔 本庁 32.9% 振興局 40.6% 〕
令和4年度	1億5,694万枚 ▲16%減 〔 本庁 ▲7%減 振興局 ▲21%減 〕	49.2% 〔 本庁 46.2% 振興局 50.1% 〕
令和7年度 (目指す水準)	▲50%減	75%